

Mobility Innovation Week Japan 2024

報告書（概要版）

1. はじめに

本報告書は、会員間の情報共有を目的に、2024 年 11 月 11 日～15 日に実施された Mobility Innovation Week Japan 2024 について、その概要、プログラム、参加者、成果等を取りまとめた資料の概要版です。

Mobility Innovation Week Japan は、2024 年度の取り組み方針のうち「④国際会議の企画・運営を通じた国際連携研究の促進」の実現を図るべく、戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）、第 1 期「自動走行」および第 2 期「自動運転（システムとサービスの拡張）」の下で 9 年間にわたり開催され、国際的なネットワーキングの機会の場としての位置づけが確立されていた SIP-adus Workshop のレガシーを承継し、新モビリティに関する国際連携研究の促進を図る目的で企画、開催したものです。

11 月 11 日～15 日にわたるプログラムでは、日本における新たなモビリティ導入事例、試験施設の現地視察とともに関係者と議論を行う宿泊型イベント（Breakout Camp）、参加者が一同に会する全体セッション（Plenary Session）、専門家同士がテーマ別に分かれて集中的な討議を行う専門家ワークショップ（Breakout Workshop）、限定的な参加者による関連会議（Other additional meeting）が実施され、国外からの参加の 48 名を含む、177 名の関係者が参加し、自動運転をはじめとする新たなモビリティについて、それぞれの取り組みの共有、技術面、制度面、社会面など多様な観点からの議論、新たな国際連携の可能性の模索が行われました。

本報告書は、本イベントで得られた知見を会員の皆さんと共有するために作成された報告書の概要版です。会員の方は、ウェブサイト会員専用ページにて詳細版をご確認ください。

2025 年 3 月 31 日

国際連携委員会 委員一同

2. Mobility Innovation Week Japan 2024 の目的・日程等

(1) 目的

Mobility Innovation Week Japan は、2022 年度末で活動を終了した「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期「自動運転（システムとサービスの拡張）」の下で開催され、国際的なネットワーキングの機会としての位置づけが確立されていた SIP-adus Workshop の取り組みを踏まえ、新たなモビリティに関する国際連携研究の促進を図る目的で 2023 年度に引き続き企画、開催しました。

(2) 全体日程

2024 年 11 月 11 日（月）～15 日（金）

日付	プログラム
11 月 11 日	Mobility Innovation Breakout Camp：現地・現物を見て議論する宿泊型の体験イベント
11 月 12 日	・三重県多気町 VISON ・岐阜県岐阜市
11 月 13 日	Mobility Innovation Workshop 全体セッション（Plenary Session） @名古屋大学東山キャンパス ES 総合館 ES ホール
11 月 14 日	Mobility Innovation Workshop 参加者企画運営型専門家ワークショップ（Breakout Workshop） @名古屋大学東山キャンパス ES 総合館、ナショナルイノベーションコンプレックス ・BW1：協調型 Lv4 自動運転モビリティサービスの実現に向けた課題と解決に向けた取り組み ・BW2：地域モビリティの課題にどう立ち向かうか？ ・BW3：自動運転におけるデータ連携の有用性 ・BW4：安全性評価（Safety Assurance）
11 月 15 日	関連会議（Other additional Meetings） ・SIP 第3期 “スマートモビリティプラットフォームの構築” International Advisory Board

(3) 参加者数

Mobility Innovation Breakout Camp(VISON) : 78 名（海外 38 名、国内 40 名）
 Mobility Innovation Breakout Camp(岐阜) : 64 名（海外 35 名、国内 29 名）
 Mobility Innovation Workshop 全体セッション : 136 名（海外 41 名、国内 95 名）
 Mobility Innovation Workshop 専門家 WS : 110 名（海外 43 名、国内 67 名）

3. Mobility Innovation Breakout Camp

(Camp: Connected/Cooperative Automated Mobility Promotion)

(1) 行程

11月11日(月)

時間	内容
10:50/12:50	集合(名古屋駅)
11:00-12:40/ 13:00-14:40	バス移動: 名古屋駅→三重県多気町 VISON
14:00-15:00	自動運転シャトル(MiCa) 試乗(1回目、2回目)
16:30-18:00	オリエンテーション&ディスカッション
18:00-21:00	レセプション
21:00-	VISIONにて宿泊

11月12日(火)

時間	内容
9:00-10:00	自動運転シャトル(MiCa) 試乗(3回目、4回目)
10:40-13:40	バス移動: 三重県多気町 VISON→岐阜県岐阜市
13:40-14:30	昼食
14:30-15:10	岐阜市関係者からのプレゼンテーション
15:10-16:40	自動運転シャトル(岐阜 Heart Bus) 試乗
16:40-17:10	試乗後ディスカッション
17:10-18:10	バス移動: 岐阜県岐阜市→名古屋駅
18:10	名古屋駅にて解散

(2) 自動運転シャトル(MiCa) 試乗@VISION

- ・ VISON の施設内を走行する自動運転シャトル(Auve Tech 社 MiCa) の試乗が実施された。

(3) VISON でのオリエンテーション&ディスカッション

- ・ VISON ホテル内 IZURUN にて、多気町久保町長の挨拶に続き、VISION 多気株式会社立花社長、BOLDLY 株式会社佐治社長、Auve Tech 社からプレゼンテーションが行われた。
- ・ モビリティ・イノベーション・アライアンス内村理事より Breakout Camp の主旨説明、Texas A&M Transportation Institute, Winfree 氏より Breakout Camp に向けた挨拶が行われた。

(4) VISON でのレセプション

- ・ VISON ホテル内 IZURUN においてレセプションが開催された。

(5) 岐阜市でのオリエンテーション

- ・ ぎふメディアコスモスにて、岐阜市都市建設部太田部長の挨拶に続き、岐阜市交通政策課川田課長、岐阜大学倉内教授からプレゼンテーションが行われた。

(6) 自動運転シャトル（岐阜 Heart Bus）試乗@岐阜

- ・ 岐阜市内にて定常運行が行われている自動運転シャトル（岐阜 Heart Bus）の試乗が実施された。

(7) 自動運転シャトル（岐阜 Heart Bus）試乗後ディスカッション

- ・ ぎふメディアコスモスにて、参加者による自動運転シャトル試乗後のディスカッションが行われた。

4. Mobility Innovation Workshop 全体セッション (Plenary Session)

(1) 会場：名古屋大学東山キャンパス ES 総合館 1 階 ES ホール

(2) 参加者：海外からの専門家 41 名を含む 136 名が参加

(3) プログラム・登壇者：

時間	プログラム・登壇者
9:00 -9:35	開会／基調講演 ・天野 肇 (モビリティ・イノベーション・アライアンス代表理事) ・高田 広章 (名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所, 所長) ・Brian Cronin (Director, ITS Joint Program Office, USDOT) ・Stephane Dreher (Head of CCAM, ERTICO - ITS Europe)
9:35 -11:25	セッション 1：持続可能なモビリティ社会に向けて ・須田義大 (モビリティ・イノベーション・アライアンス副理事長, 東京大学教授) ・Jiaqi Ma (Director, Center of Excellence on New Mobility & Automated Vehicles) ・David Webb (Head of Innovation, Centre for Connected & Autonomous Vehicles, UK) ・Randell Iwasaki (President & CEO, Iwasaki Consulting Services, USA) ・Steffen Kuhn (Spokesperson, Open Auto Drive Forum) ・Tyler C. Folsom (Affiliate Prof. University of Washington, School of STEM) ・森川 高行 (名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所, 特任教授)
11:25 -13:15	全体写真撮影・昼食・スポンサーセッション 名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所ラボツアー
13:15 -13:30	SIP 第 3 期スマートモビリティプラットフォームの構築、活動紹介 ・石田 東生 (SIP 第 3 期“スマートモビリティプラットフォームの構築”プログラムディレクター, 筑波大学名誉教授)
13:30 -15:00	セッション 2：新たなモビリティの実装に向けた世界の取り組み ・Timothy Haile (Executive Director, Contra Costa Transportation Authority) ・Joaquim Taiber (Managing Director and founder of IAMTS) ・堀川 拓也 (Head of Global Partnerships/Manager, BOLDLY 株式会社) ・三好 航 (Chief Strategy Officer, 株式会社ティアフォー) ・横溝 英明 (Director and Executive Officer, WILLER 株式会社)
15:15 -16:45	セッション 3：モビリティ革新を支える研究活動 ・Joe Zietsman (Deputy Agency Director, Texas A&M Transportation Institute) ・Timo Wopen (CEO, Thinking Cars GmbH, Germany) ・藤原 章正 (広島大学 IDEC 国際連携機構, 教授) ・Mauro Dell' Amico (President, IC00R, Italy) ・Viktoriya Kolarova (Leader of the research group “Automated & Connected driving”, DLR)
17:00 -18:15	セッション 4：パネルディスカッション モビリティ・イノベーションにより目指す将来 ・モデレータ：大口敬 (モビリティ・イノベーション・アライアンス, 東京大学教授) ・パネリスト：Jane Lappin (Partner, Blue Door Strategy & Research, USA), Habib Shamskhov (CEO, Advanced Mobility Group, USA), Tom Alkim (Strategic Advisor, Connected & Automated Mobility, MAPtm, The Netherlands), 武田 一哉 (名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所, 教授), 中野 公彦 (東京大学生産技術研究所, 教授)
18:15 -18:20	閉会挨拶 ・山本昭雄 (特定非営利活動法人 ITS Japan 専務理事)
18:30 -20:00	レセプション

(4) 開会・基調講演

- ・ モビリティ・イノベーション・アライアンス天野代表理事、名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所（GREM0）高田所長より開会挨拶が行われた。
- ・ 米 USDOT ITS Joint Program Office, Brian Cronin 氏による基調講演として、USDOT における自動運転関連の研究活動、および V2X 展開計画についての話題提供が行われた。
- ・ ERTICO(ITS Europe), Stephane Dreher 氏による基調講演として、欧州における自動運転を中心としたモビリティサービスの展開、大規模実証実験の取り組みや、国際連携活動に関する話題提供が行われた。



天野代表理事



GREM0 高田所長



Brian Cronin 氏



Stephane Dreher 氏

(5) セッションⅠ：持続可能なモビリティ社会に向けて

- ・ 「持続可能なモビリティ社会に向けて」をテーマに、将来のモビリティの方向性、新モビリティのインパクト、英国での自動運転の取組み、環境に配慮したグリーンモビリティの取組み、自動運転の持続可能性への貢献、持続可能な自動化モビリティ実現の考え方、将来の地域移動の取組みについて発表が行われた。



セッションⅠ登壇者

(6) SIP 第3期スマートモビリティプラットフォームの構築、活動紹介

- ・ SIP スマートモビリティプラットフォームの構築の石田 PD より、SIP スマモビで実現するビジョン、ビジョンの実現に向けた技術の再定義、サブテーマごとのプロジェクトテーマについて発表が行われた。

石田プログラムディレクター



(7) セッション2：新たなモビリティの実装に向けた世界の取り組み

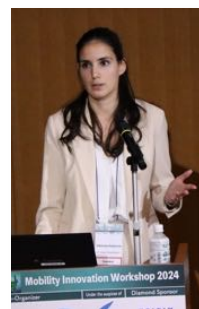
- ・ 新たなモビリティの実装に向け、米コントラコスタ郡での公共交通の自動化の取組み、自動運転の安全規則に関する仮想テストの取組み、日本での自動運転の社会実装に向けた取組みについて発表が行われた。



セッション2登壇者

(8) セッション3：モビリティ革新を支える研究活動

- ・ モビリティ革新に向けた研究活動として、米 Texas A&M でのモビリティに関する様々な研究活動、ドイツでの自動化エコシステムのアーキテクチャ開発、広島でのデジタルサンドボックスの取組み、社会・人間中心の CCAM 展開に向けた戦略、方法、ツールを開発する欧州 SINFONICA プロジェクトの取組み、ドイツのモビリティ革新への社会受容に関するプロジェクトや取組みについて発表が行われた。



セッション3登壇者

(9) セッション4：パネルディスカッション

- ・ モビリティ・イノベーション・アライアンス大口理事をモデレータに日米欧の専門家とのパネルディスカッションが行われ、将来の持続可能なモビリティ、持続可能な社会の実現に向け取り組むべき最も重要な要素は何か、公共交通機関の設計に必要なものは何か等について専門家による議論が行われた。



セッション4登壇者



パネルディスカッションの様子



会場の様子

(10) 閉会挨拶

- ・ 特定非営利活動法人 ITS Japan 山本専務理事より閉会の挨拶が行われた。



山本専務理事



参加者全員での記念写真

(11) レセプション

- ・ 立食形式でのレセプションが開催され、参加者間でのネットワーキングが図られた。



レセプション会場の様子

5. Mobility Innovation Workshop 専門家ワークショップ (Breakout Workshop)

(1) 会場：名古屋大学東山キャンパス ES 総合館, ナショナルイノベーションコンプレックス

(2) 参加者：海外からの専門家 43 名を含む 110 名が参加

(3) 専門家ワークショップ

- ・ 以下 4 つのテーマに分かれて専門家によるワークショップが行われた。
 BW 1：協調型レベル 4 自動運転モビリティサービスの実現に向けた課題と解決に向けた取組 (Cooperative Level 4 Automated Mobility Services)
 BW 2：地域モビリティの課題にどう立ち向かうか？
 (How should we approach the issues of local mobility?)
 BW 3：自動運転におけるデータ連携の有用性
 (Benefits of data interoperability related to automated driving)
 BW 4：安全性評価 (Safety Assurance)



専門家ワークショップの様子

(4) 全体ラップアップ

- ・ 各テーマでの論議後、参加者全員が集まり、各テーマでの議論概要を共有する全体ラップアップが行われた。

(5) レセプション

- ・ 専門家間のネットワーキングを図るため、レセプションが開催された。

6. 関連イベント・会議

(1) 概要

日時	イベント名称@実施場所
11月15日（金）9:00-10:30	SIP 第3期スマートモビリティプラットフォームの構築、International Advisory Board @名古屋市安保ホール会議室

7. 参考資料、ウェブサイト

- ・ Mobility Innovation Week Japan 2024 ウェブサイト
<https://mobilityinnovationalliance.org/mobiweekjapan2024/>
- ・ Mobility Innovation Workshop 2024 プログラム・リーフレット
<https://mobilityinnovationalliance.org/mobiweekjapan2024/wp-content/uploads/2024/11/6f381db6aea455725a4426a20bf6a9fd.pdf>
- ・ Mobility Innovation Week Japan 2024 実施報告記事 (LinkedIn)
<https://www.linkedin.com/feed/update/urn:li:activity:7263405440657481728>

以上

Mobility Innovation Week Japan2024報告書(概要版)

発行日 2025 年 3 月 31 日
事務局 一般社団法人モビリティ・イノベーション・アライアンス
東京都目黒区駒場 4-6-1
<https://mobilityinnovationalliance.org/>